

- 検討会でご意見を頂いた論点を中心に、訓練基準や認定要領の見直しを行うことを見据えての意見を聴取し、見直しに際しての参考とする。

1 方法

- 書面でのヒアリングを基本として、一部、実地でのヒアリングを検討。
- ヒアリングは事務局において実施。(検討会構成委員の参加も可能)

2 実施施設

- 聴導犬・介助犬の訓練事業者については、あわせて5～6施設。(実地ヒアリングは1～2施設程度)
- 指定法人については2施設程度。(実地ヒアリングは2施設)
 - ※ 訓練事業者のうち半数程度は指定法人を兼ねている施設を選定
 - ※ 訓練犬数、認定犬数の年次推移(別添)

3 内容

➤ 訓練事業者へのヒアリング内容

- ・ 訓練基準の見直しに対する意見
- ・ 訓練事業者の体制
- ・ 使用者のニーズを踏まえた訓練の実施
- ・ 適正評価の関係者の協力体制
- ・ 認定後のフォローアップ
- ・ 訓練記録・使用契約等の文書化
- ・ 訓練事業者同士の連携
- ・ ICTの活用、関係機関の連携による使用者の利便性の向上

など

➤ 指定法人へのヒアリング内容

- ・ 認定要領の見直しに対する意見
- ・ 訓練事業者が指定法人を兼ねる場合の透明性の確保
- ・ 認定基準や認定審査会の適切な運用
- ・ ICTの活用、関係機関の連携による使用者の利便性の向上

など

➤ その他

- ・ 普及に向けた支援策について など

訓練事業者における訓練犬数の年次推移

別添

【介助犬】

	訓練事業者	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1	社会福祉法人日本介助犬協会	2	3	3	2	2	1	13
2	公益財団法人日本補助犬協会		2	3		2		7
3	特定非営利活動法人兵庫介助犬協会	2		1		1	1	5
4	社会福祉法人日本聴導犬協会	1		2	1	1		5
5	日本サポートドッグ協会			1		3		4
6	社会福祉法人アジアワーキングドッグサポート協会	1		2				3
7	社会福祉法人日本介助犬福祉協会			1				1
8	特定非営利活動法人京都ケアドッグステーション			1				1
9	神奈川介助犬聴導犬協会				1			1
10	ドッグフォーライフジャパン						1	1
	合計	6	5	14	4	9	3	41

【聴導犬】

	訓練事業者	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1	公益財団法人日本補助犬協会	3	5	3	3	1		15
2	社会福祉法人日本聴導犬協会	2	4	2	2	2		12
3	社会福祉法人アジアワーキングドッグサポート協会	2	2					4
4	一般社団法人日本聴導犬推進協会	1		1	2			4
5	ドッグフォーライフジャパン	1	1	1				3
6	日本サポートドッグ協会		2	1				3
7	特定非営利活動法人聴導犬育成の会		1					1
8	社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会			1				1
9	神奈川介助犬聴導犬協会				1			1
	合計	9	15	9	8	3	0	44

指定法人における認定犬数の年次推移

別添

【介助犬】

	訓練事業者	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1	公益財団法人日本補助犬協会		2	4	1	5		12
2	社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団	1	2	2	2	2	1	10
3	社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団	1		2		1	2	6
4	社会福祉法人日本聴導犬協会	1		2	1	1		5
5	社会福祉法人日本介助犬福祉協会	1		3				4
6	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	1		1				2
7	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団	1	1					2
	合計	6	5	14	4	9	3	41

【聴導犬】

	訓練事業者	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1	公益財団法人日本補助犬協会	3	7	4	4	1		19
2	社会福祉法人日本聴導犬協会	2	4	2	2	2		12
3	社会福祉法人日本介助犬福祉協会	2	4					6
4	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	2		1	2			5
5	社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団			2				2
	合計	9	15	9	8	3	0	44